



アルプス福祉会

からのお知らせ

手を取りあいながら
心豊かに
誇らしく。。。



寿作業所

ことぶき寮

はじめまして

アルプス福祉会（寿共同作業所・ことぶき寮）は、障害者一人ひとりを大切に、自立できるためのあらゆる努力をし、社会にむかってひらかれた施設づくりをめざして1986年に障害児の親などを中心に結成されました。

そして翌年87年4月に3名の仲間と2名の職員で共同作業所と生活寮を開設し、重い障害を持っていても地域社会の一員としてあたりまえに働き、ゆたかに生きていきたいという願いの実現に向けて、地域の人たちに支えられながら着実な歩みをつづけてきました。

スタートして6年、現在では10名の仲間と5名の職員が毎日元気に働き、そのうち4名の仲間が生活寮で充実した生活を送っています。



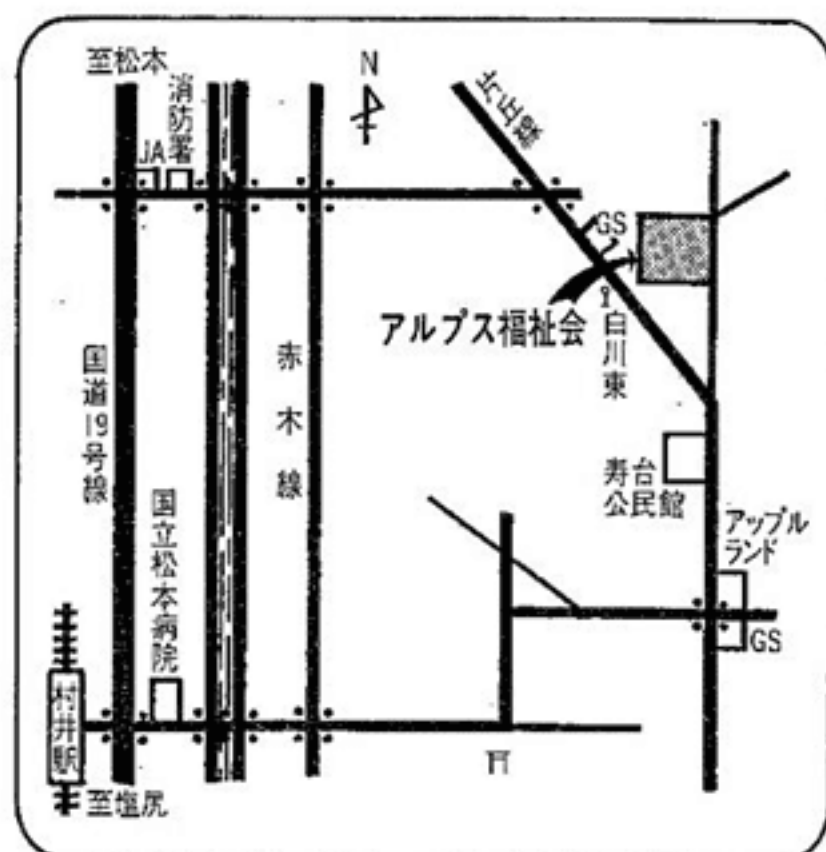
* どこにあるの

松本市寿豊丘611-15

TEL0263 (58) 4631

寿台公民館の北東約50m

「白川東」バス停より徒歩3分



* どんなことをやってるの

私たちの自慢の自主製品は、キャンプや暖炉で使う『薪（まき）』。一束300円でキャンプ場などに納めています。その他ダンボールを組み合わせる仕事や周辺のご家庭への新聞配達（週1回・約200戸）も私たちの大切な仕事です。

また、毎月いろいろな行事を仲間と計画して取り組んだり、週に1回レクリエーションや学習活動などみんなが楽しみにしている時間があります。

* 地域の中で育つ共同作業所・生活寮として

アルプス福祉会は、地域の人々との豊かな関わりを大切にしたいと考えています。

スーパーへの買い物、新聞配達や散歩など、毎日の暮らしの中でたくさんの出会いが生まれています。

この地域の住人としてあたりまえの暮らしを築いていけることを願っています。

新しい作業室をつくりたい より多くの仲間を迎えられるように

当初3人でスタートした作業室も仲間が増え、現在ではとても狭くなり、みんながゆったりと作業やレクリエーションをするには大変不便になってきたため、新しい作業室が必要になってきました。

新しい作業室は、重度の障害をもつ人や車イスの人でも利用できるようにしたいと思っています。

しかし、問題は建設のための資金づくり。

共同作業所の運営財源は、県・市による補助が中心的なものです。それだけでは決して十分な運営はできません。そこで、私たちは毎年コンサートやバザーを開いたり、物資販売によって収益を作って運営財源の確保を行なっていますが、今年は特に新しい作業室建設にむけて大々的に資金づくり運動に取り組んでいきたいと思っています。

秋には、アルプス福祉会のコンサートを開催します。みなさん、どうぞおこし下さい。

* 法人化をめざして

アルプス福祉会は、できるだけ近い将来に社会福祉法人化をはかりたいと考えています。そして、その法人によってまずは通所授産施設を作り、その後もこの松本地域の様々な障害者の願いに応えられる事業に取り組んでいきたいと思っています。

法人化（施設建設）には多額の自己財源が必要となります。

私たちは、この財源を特定の人たちだけでまかなうのではなく、障害者の地域生活を理解し応援くださる方々を広く募り、より広範な市民に支えられた施設づくり運動を進めていきたいと考えています。

アルプス福祉会では、会員を募っています。

地域で生きていこうとする障害者とその家族の願いの実現にむけ、アルプス福祉会の会員としてこの運動になんらかの形での応援をお願い致します。



「夢をいだいて」
 ~1996 年から
 コムハウス建設運動を展開しました~



まちに なるとはならないもの

